

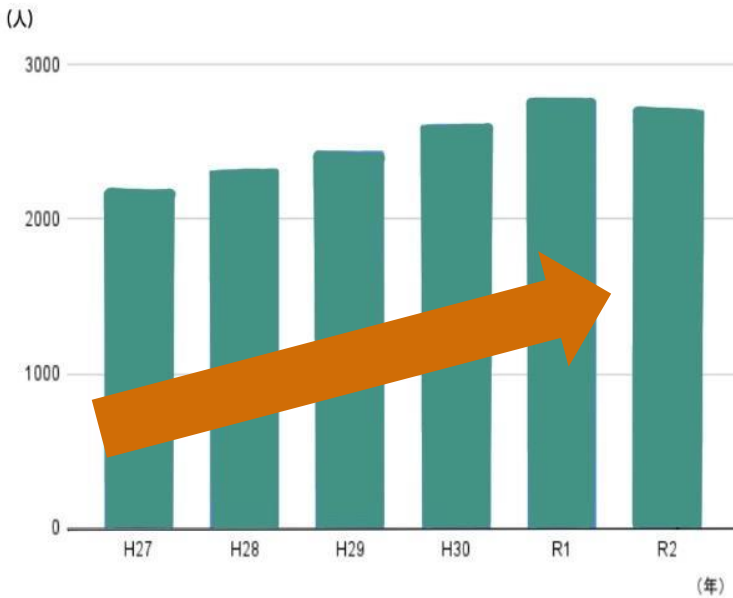
さみどりベース ～言語の壁は学習の壁ではない！～

1. 動機

- ・ 教師、言語への興味
- ・ グローバル化に伴った外国人生徒の日本語教育

2. 現状

日本語教育が必要な生徒は三重県内だけで、**5年間で24%**増加している。



<https://www.pref.mie.lg.jp/common/04/ci500002316.htm>

- ・ 生活に支障が出るというより、**授業での日本語**に問題がある
- ・ 日本語や教科の質問を保護者にすることができない
- ・ 子供の勉強にお金をかけられない家庭が多い
- ・ 先生の負担が大きい
(飯野高校日本語指導アドバイザー山本先生)

- ・ コロナ禍を経て、生徒や保護者とFacebookを使って連絡をとるようになった
- ・ 外国人生徒だけでなく、**日本人の生徒とも交流**すれば日本語の上達につながるのではないか
(みえ夢学園外国人生徒専門員マナロ先生)

3. 現状を受けて

金銭的な問題、家庭の問題、行政や学校の取り組み等、この問題の改善にはいろいろな切り口があるが、その中であくまで**わたしたちの立場**でできること

4. 具体的な解決策

- インターネット上で日本人生徒と外国人生徒が**交流できる場**を作る！
 - ・ 外国人生徒が気軽に日本語や教科のことを質問できる
 - ・ 互いの文化や日常について発信できる

→**Facebookのグループ機能**を活用
(実名、リクエスト承認制)

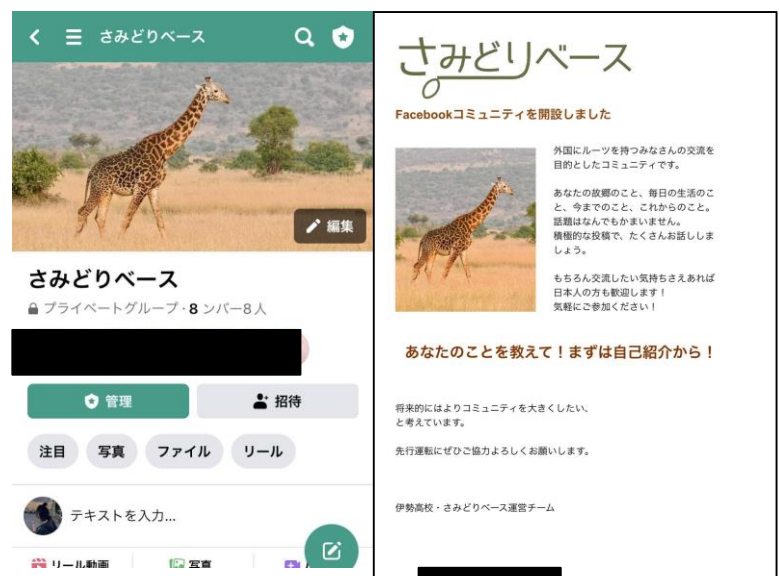
情報の共有 (ドキュメントやファイルのアップロード) が簡単

5. 運営状況

- ・ みえ夢学園、飯野高校その他県内の高校の生徒を対象として2023年1月～2月上旬の期間で試運転を開始
- ・ 周知のためポスターを該当の学校に配布
→目標の参加者30人を達成！

- ・ コミュニティの名前は「さみどりベース」
=1月を表す早緑+基地を意味するベース

- ・ **話しやすい雰囲気**を作ることが重要！
→質問を通してメンバーのを知ることが出来る毎週月木恒例の「さみどりペディア」その月に撮った写真を共有する月末企画「さみどりフォトコン」といった**定期企画の設置**



6. 今後の展望

投稿数がまだまだ少ない
まだ話しやすい雰囲気とは言えない
→より周知活動をしていく！